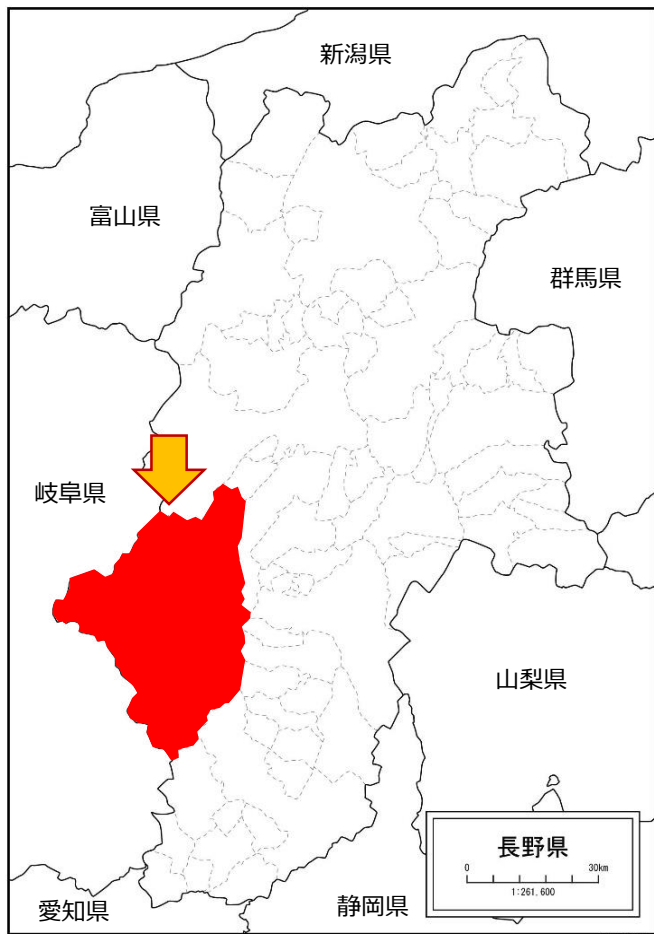


場所



基本情報

R2.4.1現在

- 人口：26,238人 ■世帯数：11,652世帯
- 面積：1,546.15km²（人口密度 約17人/km²）
- 主な地域内の移動手段：
自家用車、電車、バス、デマンドタクシー

特徴

地理・交通

- 鉄道：新宿から特急あずさ、特急しなのを使い約200分（松本又は塩尻経由）、名古屋から特急しなのを使い約80分。
- 自動車：高速道路を使い東京から約210分、名古屋から約150分に位置します。

気候
(冬の様子)

- 面積が広いため、雪が積もる町村とあまり積もらない町村があります。だいたい10cm未満から積もっても30cm程度、月に数回は雪かきが必要です。
- 車を持つならスタッドレスタイヤが必須です！

名物

- 塩を使わず乳酸菌だけでかぶ菜を発酵させた「すんき」が有名！
- 俳優：田中要次さん(木曽町)、大相撲：御嶽海関(上松町)の出身地です。

PRポイント

- 木曽地域は3町3村で構成されており、それぞれ特色が違うので自分に合った町村を探すことができます。
- 伝統工芸を守り伝える仕事から最新のリモートワーク・テレワーク等、様々な働き方を選ぶことができます。

移住の取組

移住支援制度

- 住まいの支援…空き家改修補助金や片付け補助金があります。
- 高校生までの子供に対して医療費の補助があります。

担当からの
メッセージ

- 町村の移住担当者と連携し、サポートします！
- 各町村に移住支援制度がありますので、詳細はぜひお問い合わせください。
- 事前予約制でオンライン相談も行っています。

連絡先

【木曽広域連合 地域振興課 移住・定住担当】

電話：0264-23-1050 木曽移住ポータルサイト →

E-mail：chiikisinkou@kisoji.com



～木曽の基礎知識！～

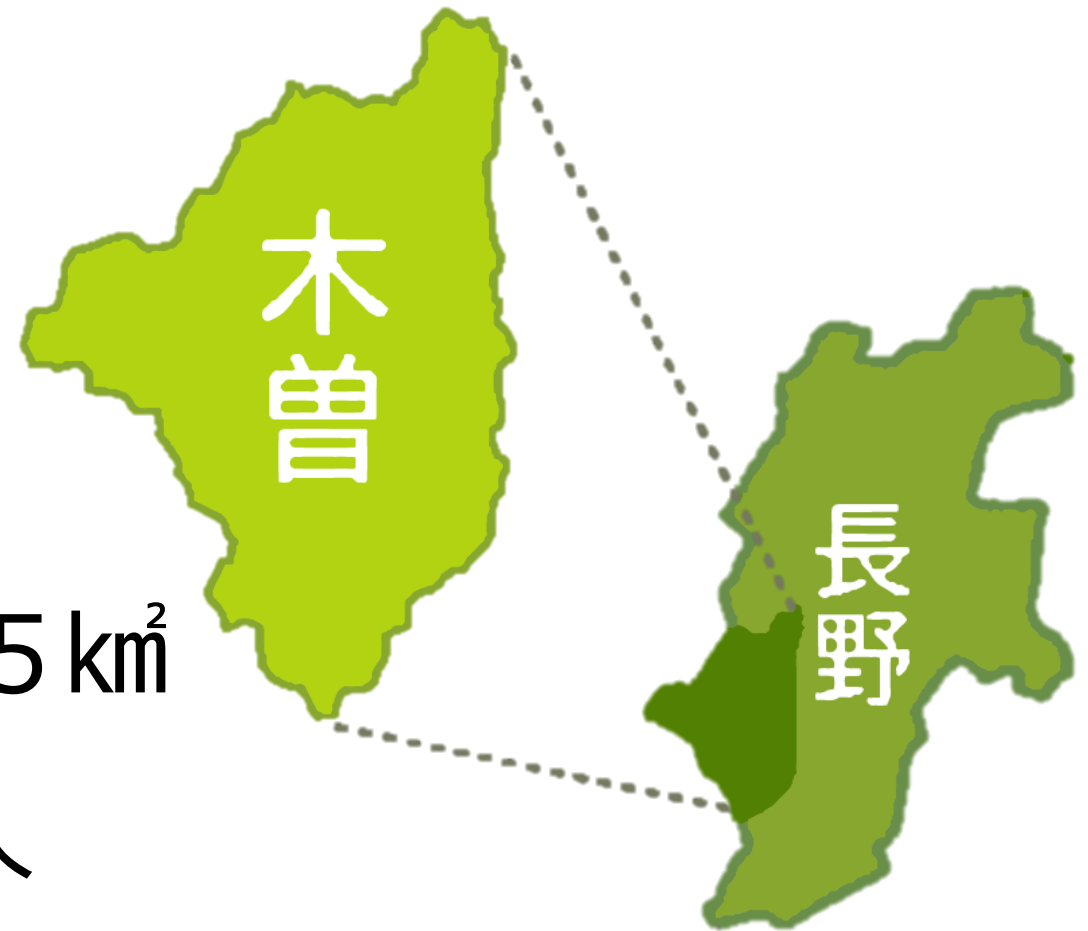
面積は大阪府や香川県に
匹敵するほど！
しかも、その約9割が森林
で覆われています。

面積 1,546.15 km²

人口 26,054人

世帯数 11,673世帯

2020年11月現在



～木曽の基礎知識！～

木曽地域のすぐ隣は
岐阜県になります。

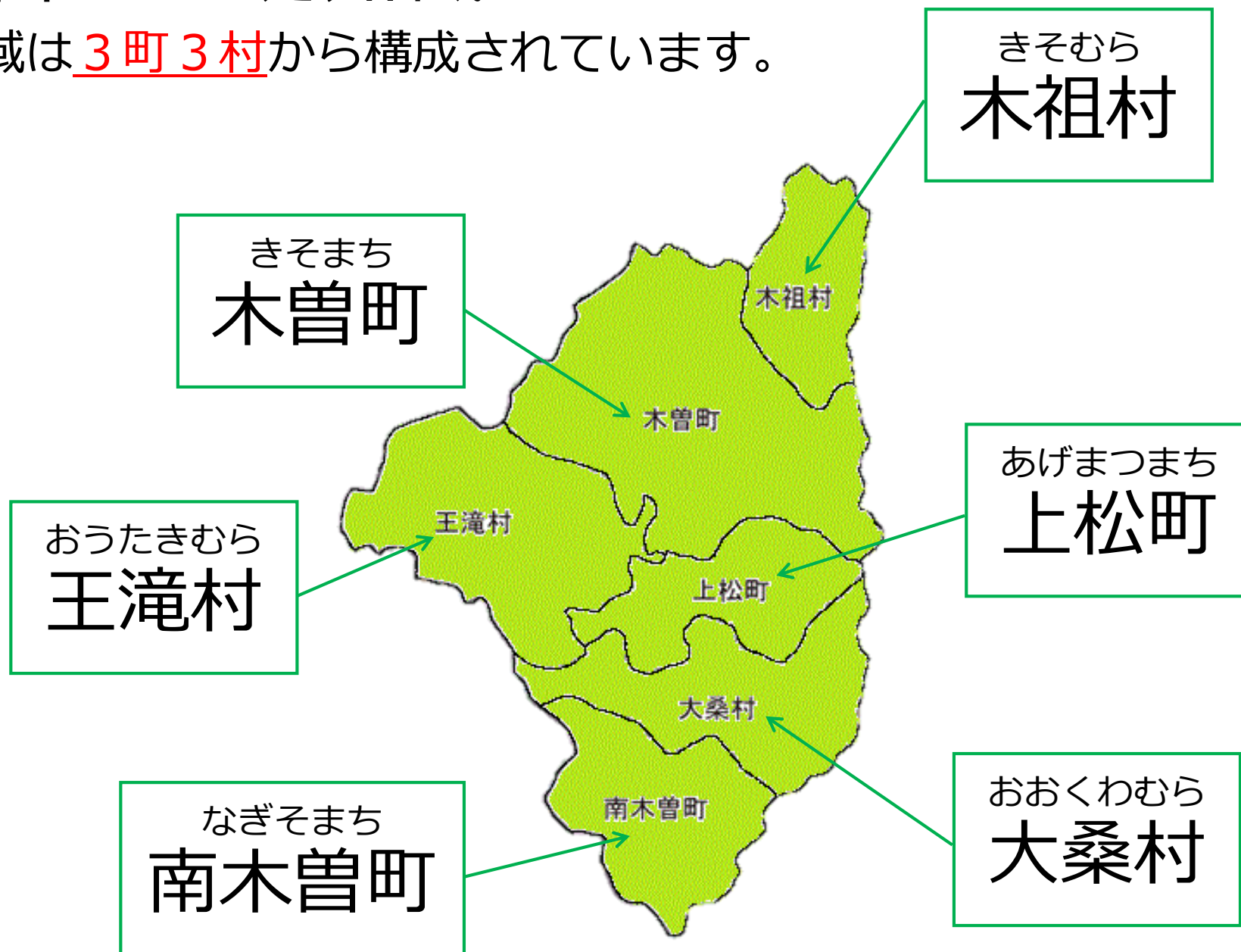
※通勤・通学の範囲について

木曽地域内で働いている方もいますが
岐阜県や松本方面・伊那方面等へ
町村を越えて働きに行かれる方も
結構いらっしゃいます♪



～木曽の基礎知識！～

木曽地域は3町3村から構成されています。



～木曽の暮らし（冬）～

これからの時期はタイヤをスタッドレスタイヤに交換します。
場所によって異なりますが、5cm～10cmくらいの積雪は度々あります。
主要幹線については除雪の体制が整っているので比較的安全に走行できます。



木祖村（木曽郡の最北端）



南木曽町（木曽郡の最南端）



伝統工芸を守り伝える仕事

木曽地域は古くから林業や木材を使った産業が盛んに行われ、現在でも続いています。近年は木曽出身者をはじめ木曽に移住した若者も伝統を引き継ぐため頑張っています。

南木曽ろくろ細工
(南木曽町)



こけら板
(大桑村)



お六櫛
(木祖村)

《ふらっと木曽》 最新のリモートワーク・テレワーク

”「IT」×「田舎」＝「新しい働き方」”

木曽でも都市部と変わらないオフィス環境が利用できます。
木曽川のせせらぎを聞きながらの仕事はいかがでしょう。



※ネット回線は光回線をご利用いただけます。

《ふらっと木曽》

”「IT」×「田舎」＝「新しい働き方」”

また地元企業、フリーランス、学生や住民の交流の場でもあり、
そこで生まれる新しい繋がりが「新たなビジネス」を創造します。

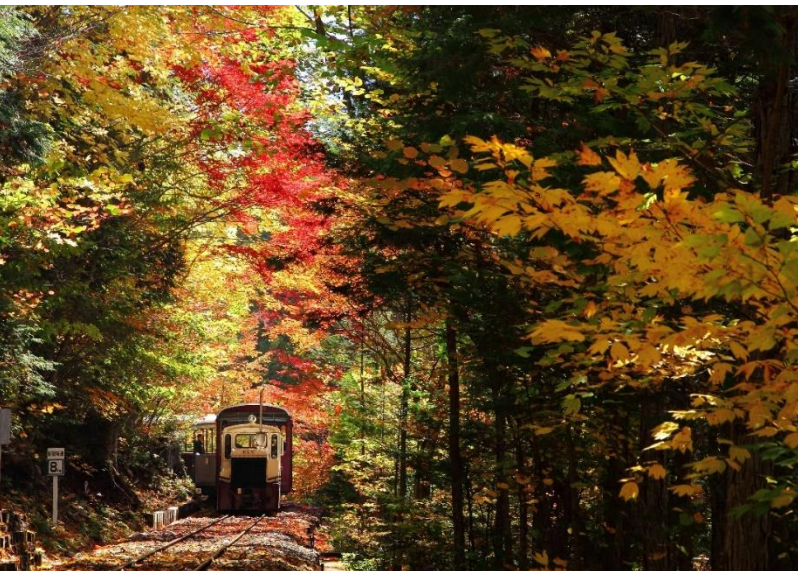


自然を満喫できる様々なアウトドア

夏は川遊びやカヌー体験、秋はハイキングなどが楽しめ、冬はスキー場が4カ所あるのでスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツが楽しめます。



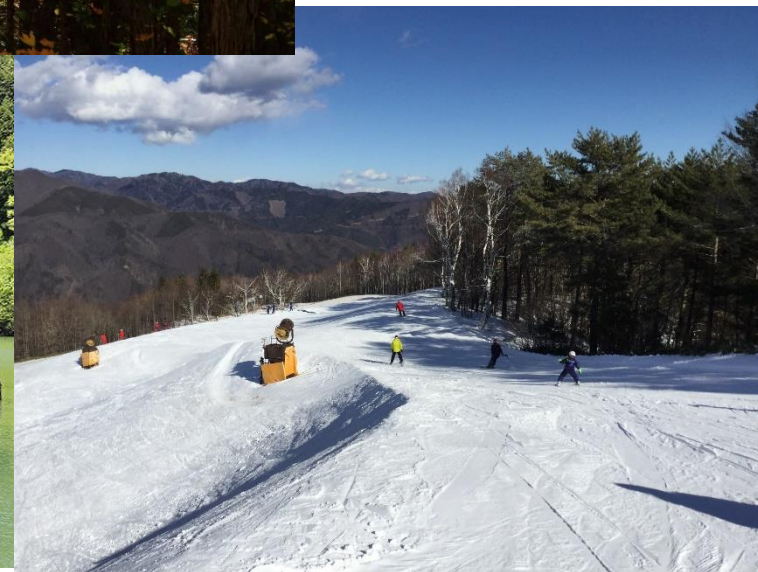
阿寺溪谷（大桑村）



赤沢自然休養林
（上松町）



自然湖（王滝村）



やぶはら高原スキー場
（木祖村）



「自然」とともに生き、豊かな「こころ」を育める場所。
そんな素敵な場所にあなたも暮らしてみませんか？

おんたけさん
御嶽山